



ヴァイ・レッド Vi Redd (1928/9/20 ロサンゼルス生まれ 94歳) 本名:Elvira Louise Redd

モダン・ジャズ黄金時代にヴォーカリスト以外の分野で女性ミュージシャンが活躍した例はあまり多くなく、その数少ない中の一人がアルト・サクソ奏者、ヴァイ・レッドである。彼女はチャーリー・パーカーを尊敬し、“レディ・バード”のニックネームを持つ。パーカーの曲を好んで吹いただけでなく演奏も基本的にパーカー・スタイルである。そんな彼女を語る上で外せないもう一つの魅力がブルース・フィーリング溢れる歌の上手さであり、まさに“ヴォーカルとサクスの二刀流”である。



**Bird Call (1962年5月21・22日録音) \*UNITED ARTISTS**

アルバムタイトルのBirdとは勿論、彼女が敬愛していたチャーリー・パーカーのこと。パーカーゆかりの曲や愛奏曲を中心に採り上げている。その素直で嫌味がなくのびのびとしたサクソに加え、彼女のソウルフルでスインギーな歌も堪能できる。故郷のロサンゼルスで活躍する名手たちと共演した貴重な初リーダー・アルバム。

**Now's The Time '5:07'**

Vi Redd (as, vo), Russ Freeman (p), Leroy Vinnegar (b), Richie Goldberg (ds), Kansas Lawrence (tp), Roy Ayers (vib)

チャーリー・パーカーが作曲した代表的なブルース。彼女はテーマのイントロ部で歌い、その後2ホーンによるテーマに続いてアルトから順にソロが展開される。

**Summertime '4:06'**

Vi Redd (as, vo), Russ Freeman (p), Bob Whitlock (b), Richie Goldberg (ds), Herb Ellis (g) Roy Ayers (vib)

幅広いジャンルでカバーされているスタンダード。チャーリー・パーカーが「ウィズ・ストリングス」で演奏して有名になった。ヴォーカルからアルトのソロ、そしてヴォーカルによるエンディングと、まさに彼女の独り舞台。

**All The Things You Are '6:15'**

Vi Redd (as), Russ Freeman (p), Bob Whitlock (b), Richie Goldberg (ds), Herb Ellis (g)

ジェロム・カーン作曲のスタンダード。多くのジャズメンがプレイするが彼女の開放感あるアルトは傑出している。ここでは彼女は歌わずにアルト演奏のみである。

**Perhaps / Cool Blues '3:45'**

Vi Redd (as), Russ Freeman (p), Leroy Vinnegar (b), Richie Goldberg (ds), Kansas Lawrence (tp), Roy Ayers (vib)

チャーリー・パーカー作曲のビ・バップ。彼女はバップの演奏も得意とし、ここでもヴォーカルはお休みしてアルト演奏をじっくりと堪能させてくれる。ヴィブラフォン、トランペット、ピアノと続いたソロの後、アルト・ソロとアンサンブルで締め括る。

**Old Folks '5:35'**

Vi Redd (as), Russ Freeman (p), Leroy Vinnegar (b), Richie Goldberg (ds), Kansas Lawrence (tp), Roy Ayers (vib)

ウィラード・ロビンソンによるスタンダード。彼女の哀愁を帯びたアルトから各ソロへ続き、美しいバラード演奏が展開される。エンディングは再びアルトで。